

みずほCustomer Desk Report 2019/01/15 号(As of 2019/01/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	108.47	1.1460	124.35	1.2851	0.7202
SYD-NY High	108.60	1.1482	124.35	1.2930	0.7218
SYD-NY Low	107.99	1.1440	123.78	1.2817	0.7175
NY 5:00 PM	108.16	1.1468	124.05	1.2872	0.7197
NY DOW	23,909.84	-86.11	日本2年債	-	-
NASDAQ	6,905.92	-65.561	日本10年債	-	-
S&P	2,582.61	-13.65	米国2年債	2.54	▲0.30bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.53	0.09bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.71	0.71bp
シカゴ日経先物	20,150.00	-155.00	独10年債	0.2315	4.95bp
ロンドンFT	6,855.02	-63.16	英10年債	1.29	0.60bp
DAX	10,855.91	-31.55	豪10年債	2.2705	▲4.05bp
ハンセン指数	26,298.33	-368.94	USDJPY 1M Vol	8.06	0.18%
上海総合	2,535.77	-18.066	USDJPY 3M Vol	8.20	0.09%
NY金	1,291.30	1.80	USDJPY 6M Vol	8.31	0.06%
WTI	50.51	-1.08	USDJPY 1M 25RR	-1.45	Yen Call Over
CRB指数	177.79	-0.2883	EURJPY 3M Vol	8.74	0.12%
ドルインデックス	95.61	-0.064	EURJPY 6M Vol	8.88	0.03%

東京	東京祝日で薄商いの中、オセアニア時間に一時108.60をつけたドル円は、108.47レベルでアジア時間オープン。時間外のダウ先物やシカゴ日経平均先物の下落を受け、序盤はドル売りが先行。その後も中国12月貿易統計が輸出入ともに予想外の減少となり、アジア株が総じて軟調に推移したことから、ドル円は上値重く推移。108.05まで値を下げた後、108.08レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は108.08レベルでオープン。アジア時間に発表された中国12月貿易統計が低水準となり米中摩擦の影響による中国景気減速が懸念されたことやプレグジット先行き不安から避難通貨とされる円買い地合いが優勢となり一時107.99を付け、108.10レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は108.10レベルでオープン。米政府機関の一部閉鎖が継続し、主要な経済指標の発表が延期となる中、軟調に推移していた株式市場が下げ渋る展開にドル円は108.35まで戻す。午後は、翌日の英議会でのEU離脱案採決を控え、108.20を挟んでの値動きが続き、108.16レベルでクロスした。ユーロドルは1.1468レベルでNYオープン。朝方は、英テレビ局が「影響力のある保守派でプレグジット賛成派の議会メンバーが、明日の夜の投票でメイ首相に賛同するだろう」と伝えたことから、ポンドが急伸する展開に、ユーロドルも連れて1.1481まで戻すが、そのテレビ局が実際は否決するだろうの間違ったと報じたことからその後は1.1463まで反落する。午後は、方向感の無い推移が続き、1.1468レベルでクロスした。

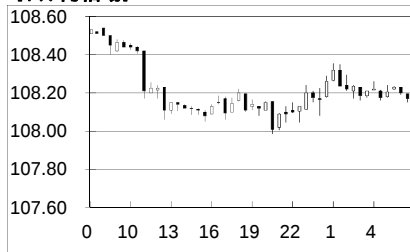
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月14日	-	中	貿易収支	12月 \$57.06B \$51.60B
	19:00	欧	鉱工業生産(前月比)	11月 -1.7% -1.5%

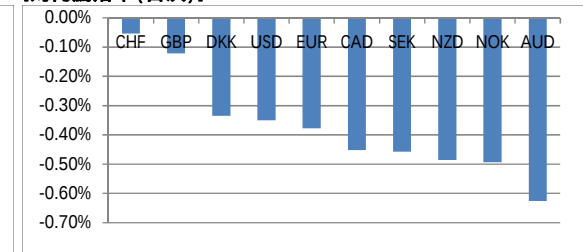
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月15日	16:45	仏	CPI(前月比/前年比)	12月 0.0%/1.6% 0.0%/1.6%
	22:30	米	ニューヨーク連銀製造業景気指数	1月 10.0 10.9
	22:30	米	PPI 最終需要(前月比/前年比)	12月 -0.1%/2.5% 0.1%/2.5%
1月16日	01:30	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	- - -
	03:00	米	ジョージ・カンザスシティ連銀総裁講演	- - -
	03:00	米	カプラン・ダラス連銀総裁講演	- - -

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.50-109.00	1.1450-1.1600	124.00-126.0

【マーケットインプレッション】

金曜日のドル円は、ニューヨークの朝方に発表された実質時給が前年比で加速したことを受けて108.60付近まで上昇するも、クラリダFRB副議長によるハト派なコメントなどを背景に米金利が低下する中、終始レンジ内で推移。昨日のドル円は、中国の貿易統計が前年比で予想外にマイナスとなり、グローバル経済への懸念が再燃する中、ドル円は一時108円を割る展開に。その後は、トランプ大統領が米中通商協議について合意に達する見込みと発言したことを受けて、ドル円も下げを縮小し、結果108円前半でクロース。ドル円は引き続きレンジ内での動きを想定。本日のPPIのほか、米企業決算などに注目。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:牧・森谷